

令和3年12月に、児童・保護者・教職員に学校評価アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。調査のまとめをお知らせするとともに、今後の教育活動や指導に活用していきます。

校訓

「深めよう考えを 鍛えよう身体を 育てよう豊かな心を」

児童アンケートから

○ 全体の傾向について

「学校は楽しいですか」「家の人、友だち、先生との約束やルールを守っていますか」「学校やクラスの人々に優しくしていますか」「授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか」「係活動や当番活動をしっかり行っていますか」の4問で、肯定的な回答が96%以上になっています。子どもたちの感覚として大人が考える以上に落ち着いて学校生活を送っていることが分かります。

○ 「学校が楽しい」と他の回答との関係について

「学校が楽しい」「少し楽しい」と肯定的に回答をした児童は回答全体の96%でした。この数値は高く、学校としてもうれしい結果となりました。しかしこれは4%の「あまり楽しくない」「楽しくない」がいたことの裏返しでもあります。そこで、その原因を探るために、学校の楽しさに何が寄与しているかを分析しました。

「学校は楽しいですか」の質問で肯定的に回答した児童が「授業はわかりやすいですか」の質問に肯定的に回答した児童の割合は92%でした。一方で「学校は楽しいですか」の質問で否定的に回答した児童が「授業はわかりやすいですか」の質問で肯定的に回答した児童の割合は66%にまで26ポイントも減少していました。他の回答と照らし合わせると、以下のようにになりました。「授業がわかる」や「先生の励まし」が「学校が楽しい」に影響していることが分かります。教員の研修を充実させ、分かりやすい授業づくりや子どもたちのやる気につながる声掛けをさらに進めていきたいと思えます。

「学校が楽しい」という問いに対して肯定的な答えをした児童と否定的な答えをした児童が、他の質問に対して肯定的な答えをした割合

	授業がわかる	あいさつができる	家で学習	先生の励まし
肯定的	92%	90%	75%	93%
否定的	66%	66%	53%	76%

アンケートのご協力ありがとうございました。今年度から実施方法をWEB回答に一本化させていただきました。回答率が減少してしまいましたが、アンケートの実施方法の周知を図ったり、実施期間を長くしたりして、回答率の向上に取り組みたいと思えます。来年度もご協力をお願いします。児童や保護者による評価のグラフは、学校ホームページでご覧いただけますので、ご参照ください。

保護者アンケートから

○ 全体の傾向について

昨年度に比べて保護者の皆様の回答は肯定的な選択肢を選ぶ割合が多くなっていました。「子どもは約束やルールを守っている」(32%→46%)や「子どもは人の話をよく聞いている」(23%→38%)が特に顕著でした。また、「子どもは思いやりのある言動ができています」がどの学年でも40%近くになっています。ご家庭のご努力のおかげで子どもたち生活面での安定が保たれていることが見て取れます。

しかし子どもたちの自己評価と比較すると、保護者の皆様の回答と開きがあるものが散見されます。「子どもは約束やルールを守っていますか」や「子どもは授業がわかりやすいと言っている」「子どもは人の話をしっかり聞いている」等を開きがあります。子どもたちと保護者の皆様の差を埋められるように、学習面でも生活面でも教育活動をさらに充実させていきたいと思えます。

○ 子どもは家で意欲的に学習している

「できている」「おおむねできている」と回答した保護者は、55%から59%と4ポイント増となりました。家庭での学習習慣はご家庭の協力があるからこそ身につきます。今後も学習習慣の定着を図るために、宿題の質や量を考えていきたいと思えます。

○ 学校は気軽に相談できる

肯定的な回答が92%から87%に5ポイント減少しています。学校に来ていただく機会が減少しており、学校との距離感があることが一因かと考えます。学校と家庭が両輪となって子どもたちを育ていけるように、気軽に相談できる学校づくりに取り組んでいきます。

保護者から学校へ

アンケートの自由記述欄に寄せられたご意見は「コロナ禍で忙しくて大変ですが、頑張ってください。応援しています。」「先生からの言葉で励まされることが多いです。いつも子どものことを見ていただいております。」「6年生は難しい年頃です。先生方に感謝しています。」など私たちの励みになる言葉が寄せられていました。期待に添えるように頑張りたいと思えます。

コロナ禍ということでそちらへの対応や要望も多く寄せられました。体育時のマスクや給食時の黙食など、平時とは異なる学校生活でストレスを抱えていることに心配を抱くご意見や、そんなときだからこそ、休み時間に子どもたちと遊ぶ先生にストレス解消の機会を与えてくれてありがたいと感謝の言葉もいただきました。

忘れ物への対応や宿題の量に対するご意見もいただいています。皆様方から寄せられたご意見に謙虚に耳を傾け、今後の学校教育活動に生かしていきたいと思えます。

通学団の班編成について学校で班編成を行ってほしいという意見や、地区の事情があるので地区で決めさせていただきありがたいという意見をいただきました。PTA総務部会とも相談し、当面の間現状どおりとさせていただくこととなりました。ご了承くださいますようお願いいたします。

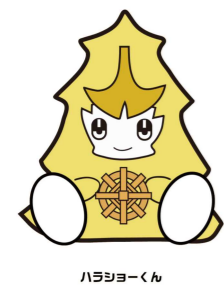
また、ホームページの更新や配信内容に対するご意見もありました。このように学校になかなか来ていただけない時期だからこそ、各学年で記事のアップに努めていきたいと思えます。温かい目で見守っていただくと嬉しいです。

いただいた貴重な意見やご感想は、今後の学校教育活動の参考にさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今後の課題、Q&A

「原っ子が輝く(原輝)」学校づくりのため、今後ともご支援・ご協力をお願いします。以下、いくつかの質問にお答えします。

- Q1 コロナ禍で学校へ行く機会が減っていて、子どもの様子が分かりません。今後の見通しを教えてください。
- A1 子どもたちを活動の主体にした授業づくりの取組を進め、少しずつペア・グループ活動や、一時的なコの字の座席配置を行っています。ただし、給食中の前向き座席での黙食は継続しています。新しい株の感染拡大も心配されます。状況を見て臨機応変に対応していきます。
- Q2 コロナ禍での教育活動が3年目に突入します。来年度についてはどのようになりますか？
- A2 クラブ活動や部活動、原っ子フェスティバルなどは本年度再開しましたが、子どもたちが十分に活動できる内容になっていないのが現状です。しかし、ポストコロナにも対応できるよう行事計画を平常時に戻して行くことも考えています。例えば運動会について来年度は休日の全校開催の可能性も含めて計画を進めています。
- Q3 コロナ禍が続き、子どもの心が心配です。学校を訪問している臨床心理士のカウンセリングを受けるには、どのような手続きが必要ですか？
- A3 月に3回程度、不定期ですが、本校には学校カウンセラーが訪問しています。お子様のことで相談したいことがある場合は、担任に希望を伝えてください。保護者の方でも児童本人でも親子一緒にカウンセリングができます。(予約状況によってカウンセリングまで少し時間がかかるかもしれません。)



令和3年度学校評価アンケート結果<児童>

令和3年度学校評価アンケート結果<保護者>

